

## 平成27年度鹿児島市商工業振興プラン推進会議 会議概要

日 時：平成27年10月28日（水）10:00-11:40

場 所：鹿児島市役所みなと大通り別館6階会議室A

参加者：委員11名（鹿児島商工会議所の中村委員の代理出席1名、南委員を含む）

会次第：1 開 会

2 会長あいさつ

3 協 議

(1) 鹿児島市商工業振興プランの進捗状況について

(2) 商工業振興プラン成果指標の見直しについて

4 意見交換

鹿児島市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン（案）」「総合戦略（案）」  
について

5 閉 会

主な意見等：以下のとおり

<鹿児島市商工業振興プランの進捗状況について>

（委員） 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」については、鹿児島大学が文科省から採択を受け、各関係機関と連携しながら、5年後の学卒者の県内就職率を平成26年度学卒者の就職率より7.5%増を目指すこととしている。

（委員） 鹿児島銀行が実施主体で、地産・地消や商品力向上・販路拡大への取り組みを行っている「アグリクラスター事業」は、金融機関が主催する商談会の中でも大規模な国内商談会を毎年実施している。

（委員） 商工業振興プランに係る事業で、事業自体は拡充となっているが、予算額が減額となっている事業も見られるため、事業内容としてどの部分が拡充となっているか、資料の中で説明したほうがわかりやすい。

（事務局） 事業の内容によっては、予算額が減額となっても拡充とする場合があるため、次回から資料を見て拡充の要素がはっきりとわかるように改善する。

（委員） 映画撮影等の誘致については、国内だけでなく東アジア等国外からも呼び込めば、観光客の増加等にもつながるのではないかと。

（事務局） 担当部署にご意見としてお伝えする。

<商工業振興プラン成果指標の見直しについて>

・事務局より提示した案（資料4参照）が承認された。

<鹿児島市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン（案）」「総合戦略（案）」について>

- (委員) 各世代にも認識・共有してもらうために教育分野でも使ってもらえないか。
- (委員) ご意見の趣旨を踏まえ、人口ビジョン、総合戦略については、積極的かつ効果的な周知広報に努めていく。また、ご意見があったことについては、校長研修会等を通して周知していく。
- (委員) 商店街空き店舗対策は、鹿屋市で取組んでいるリノベーション等が参考にできないか。
- (事務局) 総合戦略の積極戦略「(1) しごとで活力を「つくる」」の「(2) 地域産業の競争力強化(分野別取組)－①商業・サービス業の活性化」の中で、空き店舗等の再生を担う人材の育成について盛り込んでいる。ご意見については、今後の取組にあたっての参考とさせていただく。
- (委員) 鹿児島観光コンベンション協会の組織体制の充実・強化とは具体的に何を想定しているのか。
- (事務局) 外国人観光客のさらなる誘致・受入体制の充実に向けて、同協会での専門的な人材の配置や市場調査による官民一体となった事業の実施など、同協会の組織体制の充実・機能強化を行うものである。
- (委員) 人口が減少する中でも幸福感を共有できるまちづくりが大切なのでは。
- (事務局) 人口ビジョンの「目指す姿」は、少子高齢化の進行と人口減少局面への移行という課題を見据えて策定された第五次総合計画の都市像も踏まえる中で「人・まち・みどり みんなで創る”豊かさ” 実感都市・かごしま」を掲げており、市民が郷土への誇りを胸に生き生きと暮らし、また、国内外から訪れる多くの人々が行き交う、豊かさを実感できるまちづくりを目指していく。
- (委員) 高い目標を設定することも重要だが、人口減少に備える準備をしておくべきでは。
- (事務局) 総合戦略においては、人口減少に歯止めをかける積極戦略を盛り込む一方で、一定の人口減少を前提として、その負の影響を軽減する適応戦略を盛り込んでいる。ご意見を踏まえ、総合戦略「Ⅳ 今後の政策の方向」の中に、適応戦略の目的や重要性を明確化する文言を盛り込んでいく。